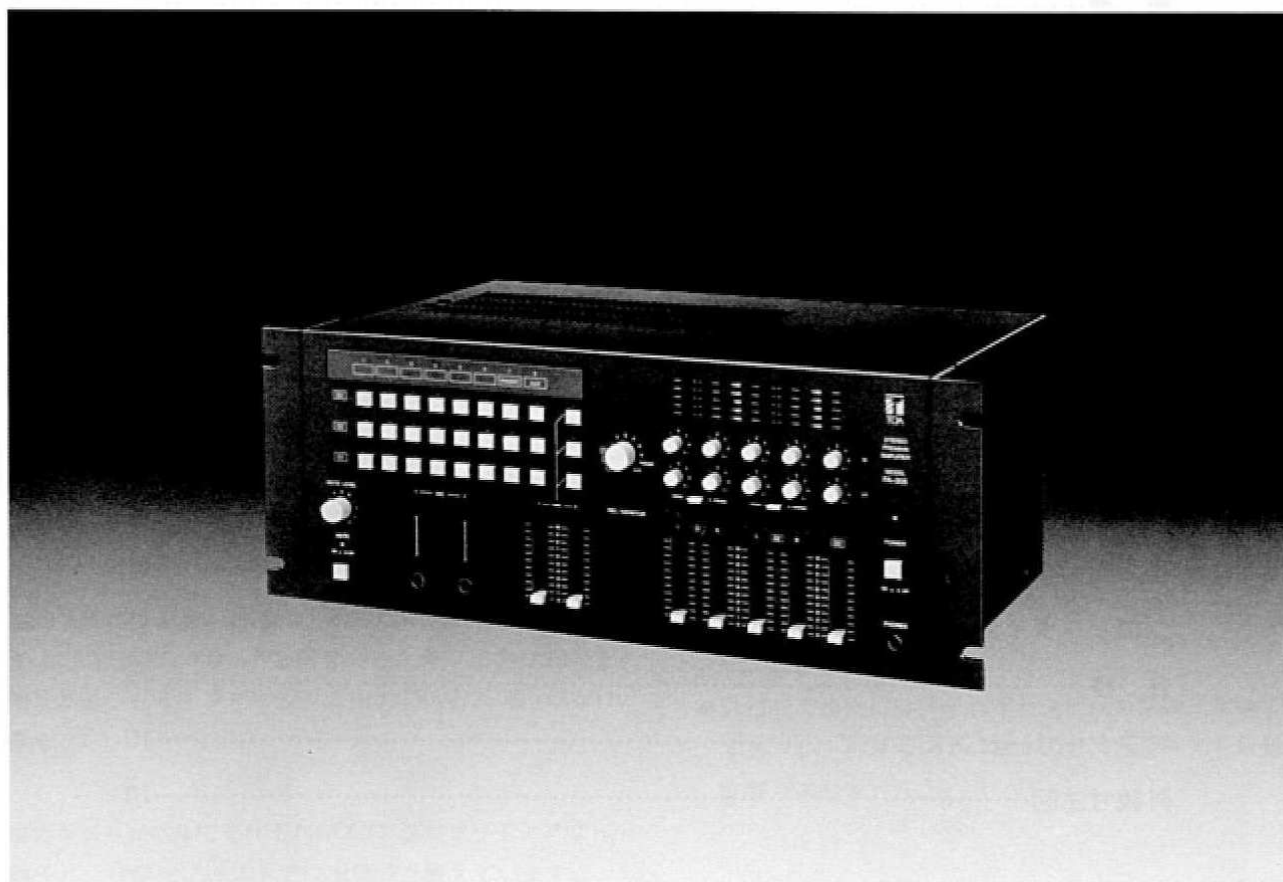


TOA ステレオプリメインアンプ

FA-305



このたびは、TOAステレオプリメインアンプFA-305をお買上げいただき、まことにありがとうございます。正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みになり、木長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

●目次

ご使用になる前に.....	1
概 要.....	2
特 長.....	2
各部の名称と使い方(フロントパネル).....	3
各部の名称と使い方(リアパネル).....	4
接続のしかた.....	5
接続例.....	6
使用例	
(イ) BGMシステム(1).....	7
(ロ) BGMシステム(2).....	7
(ハ) サラウンドシステム.....	8
各入出力端子のレベルとインピーダンス.....	8
ブロックダイアグラム.....	9
仕 様.....	10
アフターサービスについて.....	10
外観寸法図.....	10

●ご使用になる前に

1. 電源電圧は、

AC100Vの家庭用電源コンセントにつないで使用してください。

キャビネットをあけないでください。

改造などは、故障や火災・感電など事故の原因になることがあります。

2. 放熱は、

放熱孔がふさがれると、内部の温度が上昇して故障や事故の原因になることがあります。

3. 次のような場所に設置することは避けてください。

- 直射日光の当たる所や暖房器具の近くなど、温度が高くなる所。
- 湿気やほこりの多い所。
- 振動の多い所。

● 概 要

FA-305は、2系統のステレオ出力と、1系統のモノ出力を
備え、入力は8チャンネル(ステレオ)から選択ができます。

3系統に別々のプログラムソースを出力することができま
す。

● 特 長

●ステレオ入力が8チャンネルあります。内1つはPHONO
入力(RIAA)で、AUX入力にはステレオピンジャックと
)モノラルホンジャックを備えています。他にマイク入力
が2本あります。

●出力系統は、ステレオ出力(30W+30W/4 Ω)2系統と
モノ出力(30W/4 Ω)1系統をもち、モノ出力は接続を
変えると、ハイインピーダンス出力(30W/330 Ω)になり
ます。

●出力5チャンネルにそれぞれACC(アクセサリインアウト)
端子と、パワーブーストアウト端子を備えています。

●マイク放送は、出力を選択でき、しかもミュートスイッ
チを押すことにより、プログラムソースの音量を任意に
低くすることもできます。
)

●録音出力セレクトにより、8チャンネルステレオ入力と
2ステレオ出力・1モノ出力を選択し、録音やヘッドホン
でモニタができます。

●スピーカイコライザ切替スイッチにより、低音をブース
トできます。

●スピーカ出力には、それぞれスピーカ回線異常時に作動
するブレーカがついていますので、ヒューズを取替える
必要がありません。

●各部の名称と使い方(フロントパネル)

入力選択スイッチ 3(G3)
グループ3に出力する入力プログラムソースを選択します。選択した入力の位置に、赤色のLEDが点灯します。

入力選択スイッチ 2(G2)
グループ2に出力する入力プログラムソースを選択します。選択した入力の位置に、橙色のLEDが点灯します。

入力選択スイッチ 1(G1)
グループ1に出力する入力プログラムソースを選択します。選択した入力の位置に、緑色のLEDが点灯します。
※入力選択は、同時に2つ以上選択すると故障の原因になりますので、いずれか1つを選択してください。

マイク出力選択スイッチ 1(G1)
マイク1、2の出力をグループ1にミキシングするときにONにします。緑色のLEDが点灯します。もう一度押すと、マイク出力がOFFになりLEDが消灯します。

マイク出力選択スイッチ 2(G2)
マイク1、2の出力をグループ2にミキシングするときにONにします。橙色のLEDが点灯します。もう一度押すと、マイク出力がOFFになりLEDが消灯します。

マイク出力選択スイッチ 3(G3)
マイク1、2の出力をグループ3にミキシングするときにONにします。赤色のLEDが点灯します。もう一度押すと、マイク出力がOFFになりLEDが消灯します。

入力音量調整器
接続される入力機器の出力レベルを、本機の入力レベルに適合するように調整します。
※このカバーは、左側面にフックがありますので、これを鉛筆の先などで横に押しますと、自然に前にはずれます。

REC出力切換スイッチ (REC/MONITOR)
REC OUT端子とヘッドホン端子に送る信号入力とグループ1、2、3の出力を選択します。

LED5点レベルメータ
各グループの出力レベルを表示します。0dBで定格を表示します。
+6dB 赤、+3dB 橙、0、-5、-10dBを緑で表示します。

低音イコライザ(LO)
各グループの低音の音質を調整します。"0"の位置でフラットの特性です。±10dB(100Hz)の範囲で調整することができます。

高音イコライザ(HI)
各グループの高音の音質を調整します。"0"の位置でフラットの特性です。±10dB(10kHz)の範囲で調整することができます。

ステレオ/モノラル切換スイッチ (STEREO/MONO)
押すと▲モノラルになり、もう一度押すと■ステレオになります。

電源インジケータ
本機に電源が入ると点灯し、切れると消灯します。

電源スイッチ(Power)
押す(▲ON)と電源が入り、緑色のLEDが点灯し、もう一度押す(■OFF)と電源が切れ、LEDが消灯します。

ヘッドホン出力端子 (PHONES)
ヘッドホン端子には、インピーダンスが8Ω以上のヘッドホン接続します。接続された入力と、グループ1、2、3の出力をREC出力切換スイッチを押しながら、ステレオでモニタができます。(ただし、グループ3はモノラル)

ミュートレベル調整器 (MUTE LEVEL)
マイク使用時にミュートスイッチをONにしたとき、すでに出力されている信号をどのくらい小さくするかを調整します。

ミュートON表示LED (MUTE)
ミュートスイッチをONにすると橙色のLEDが点灯します。

ミュートスイッチ(MUTE)
マイク放送するときに、すでに出力されている信号を小さくするときに押します。ただし、マイク出力選択SWが、1つ以上ONになっていないとミュートできません。

マイク1 入力音量調整器(MIC1)
マイク1入力端子に接続されたマイクの音量を調整します。

マイク2入力端子(MIC 2)
ローインピーダンスのダイナミックマイクを接続します。

マイク1入力端子(MIC 1)
ローインピーダンスのダイナミックマイクを接続します。

マイク2 入力音量調整器(MIC2)
マイク2入力端子に接続されたマイクの音量を調整します。

グループ1(G1L) 出力音量調整器
グループ1 (L)のスピーカ出力端子に送られる、入力選択スイッチ1で選択された入力の音量を調整します。

グループ1(G1R) 出力音量調整器
グループ1 (R)のスピーカ出力端子に送られる、入力選択スイッチ1で選択された入力の音量を調整します。

グループ3 出力音量調整器(G3)
グループ3のスピーカ出力端子に送られる、入力選択スイッチ3で選択された入力の音量を調整します。

グループ2(G2R) 出力音量調整器
グループ2 (R)のスピーカ出力端子に送られる、入力選択スイッチ2で選択された入力の音量を調整します。

グループ2(G2L) 出力音量調整器
グループ2 (L)のスピーカ出力端子に送られる、入力選択スイッチ2で選択された入力の音量を調整します。

●各部の名称と使い方(リアパネル)

サーキットブレーカ(3.15A) (PUSH RESET)

各グループのスピーカ回路に短絡などの異常があるとサーキットブレーカが作動します。異常の原因を究明してから、緑色のリセットボタンを押込んでリセットします。

ACヒューズホルダ(7A)
表示している容量と同じヒューズを交換してください。ヒューズが切れた原因を究明してから交換してください。

ACアウトレット (SWITCHED)
電源スイッチがONの間だけ他の機器の電源として使用できます。電源スイッチがOFFになると、ここに接続された機器の電源もOFFとなります。容量は2つ合計で最大100Wまでです。

ACアウトレット (UNSWITCHED)
電源スイッチを入れなくても、電源コードをAC100Vのコンセントに接続すれば、他の機器の電源として使用できます。容量は最大100Wまでです。

電源コード
AC100Vのコンセントに接続してください。

アクセサリインアウト端子 (ACC IN OUT)
各グループ出力にエフェクタ(イコライザ、ディレイ、リバーブなど)を接続する入出力端子です。
定格 -10dB、入力インピーダンス 10k Ω 、出力インピーダンス 2.2k Ω 。

ブーストアウト端子 (BOOST OUT)
各グループの出力をパワーアップするときに使用します。この端子にパワーアンプの入力を接続します。グループ出力音量調整器を上げると出力が大きくなります。
定格 +4 dB、出力インピーダンス 2.2k Ω 。

スピーカイコライザ切換スイッチ (SPEQ)
別売の小型スピーカ (F-10、F-150、F-300など) を接続するときは、LOUD側に切換えますと低音が増強されます。通常は、NORM側にしておきます。特性はフラットになります。

スピーカ出力端子 (SPEAKERS)
各グループのスピーカ接続端子です。合計インピーダンスが4 Ω 以上になるように接続します。グループ3は、ハイインピーダンスが接続できます。

フォノ入力端子 (PHONO)
MM型カートリッジのレコードプレーヤを接続します。

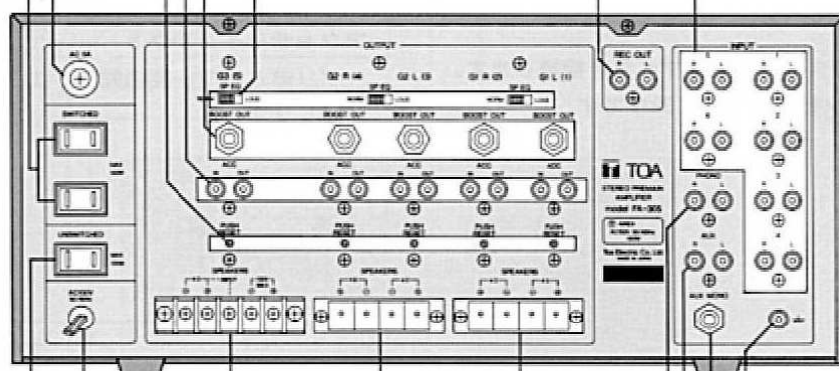
録音出力端子 (REC OUT)
テープレコーダなどを接続します。選択は、フロントのREC出力切換スイッチで切換えます。
定格 -10dB、出力インピーダンス 2.2k Ω 。

インプット入力端子 (INPUT 1-6)
定格 -20dB、入力インピーダンス 10k Ω 。

アース端子 (カ)
本体のアースをとりまします。

BGM入力端子 (AUX MONO)
ホーンプラグが使用できます。AUXとバラになったモノラル入力です。
定格 -20dB、入力インピーダンス 10k Ω 。

AUX入力端子 (AUX)
定格 -20dB、入力インピーダンス 10k Ω 。



● 接続のしかた

● 入力

INPUT1~6には、

カセットデッキ、CDプレーヤ、FM・AMチューナ、ワイヤレスチューナ、ビデオテープレコーダ、ビデオディスクプレーヤなどを接続します。

定格は、 -20dB 、インピーダンス $10\text{k}\Omega$ です。

※左ピンジャックのみ差込むと右も同じ信号となります。

PHONO(INPUT 7)には、

MM型カートリッジレコードプレーヤなどを接続します。

定格は、 -50dB at 1kHz 、インピーダンス $47\text{k}\Omega$ です。

※ピンプラグを抜いた状態では、入力ショートとなりますので、ショートピンは不要です。

AUX(INPUT 8)には、

BGM演奏機器、コマーシャルプレーヤ、有線放送などを接続します。

定格は、 -20dB 、インピーダンス $10\text{k}\Omega$ です。

ピンジャックとホーンジャックは同時には接続しないでください。

※左ピンジャックのみ差込むと、右も同じ信号となります。

MIC1・2には、

ローインピーダンスのダイナミックマイクを接続します。

定格は、 -60dB 、インピーダンス $3.3\text{k}\Omega$ です。

● 出力

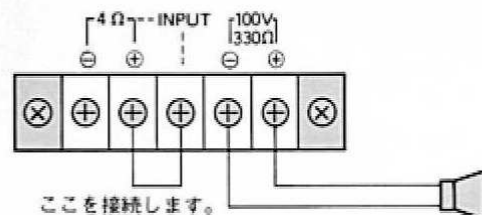
スピーカ端子

・ローインピーダンススピーカを接続する場合は、合計インピーダンスが 4Ω 以上になるように接続します。

許容入力 30W 以上のものをお使いください。

例、 8Ω スピーカであれば、並列に2個まで接続できます。

・ハイインピーダンススピーカを接続する場合は(グループ3のスピーカ端子だけ)、端子間を短絡します。合計



(別売のPC-35R、CS-31Pなど)

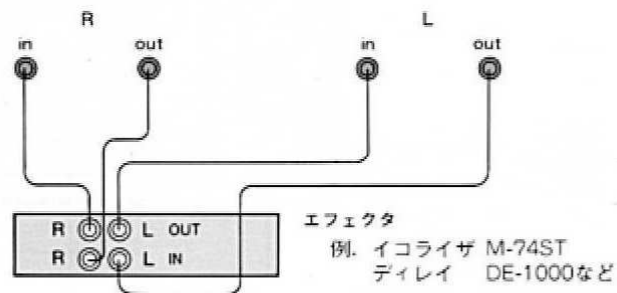
インピーダンスが 330Ω 以上になるように接続します。

例、 $3.3\text{k}\Omega$ 、 3W のスピーカであれば、並列に10個まで接続できます。

※このとき、ローインピーダンスの端子に同時に接続することはできません。

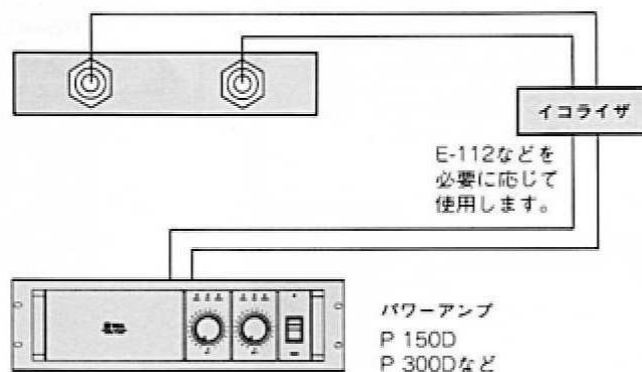
アクセサリインアウト

ブリ部とパワー部の間に、エフェクタなどの機器を接続します。

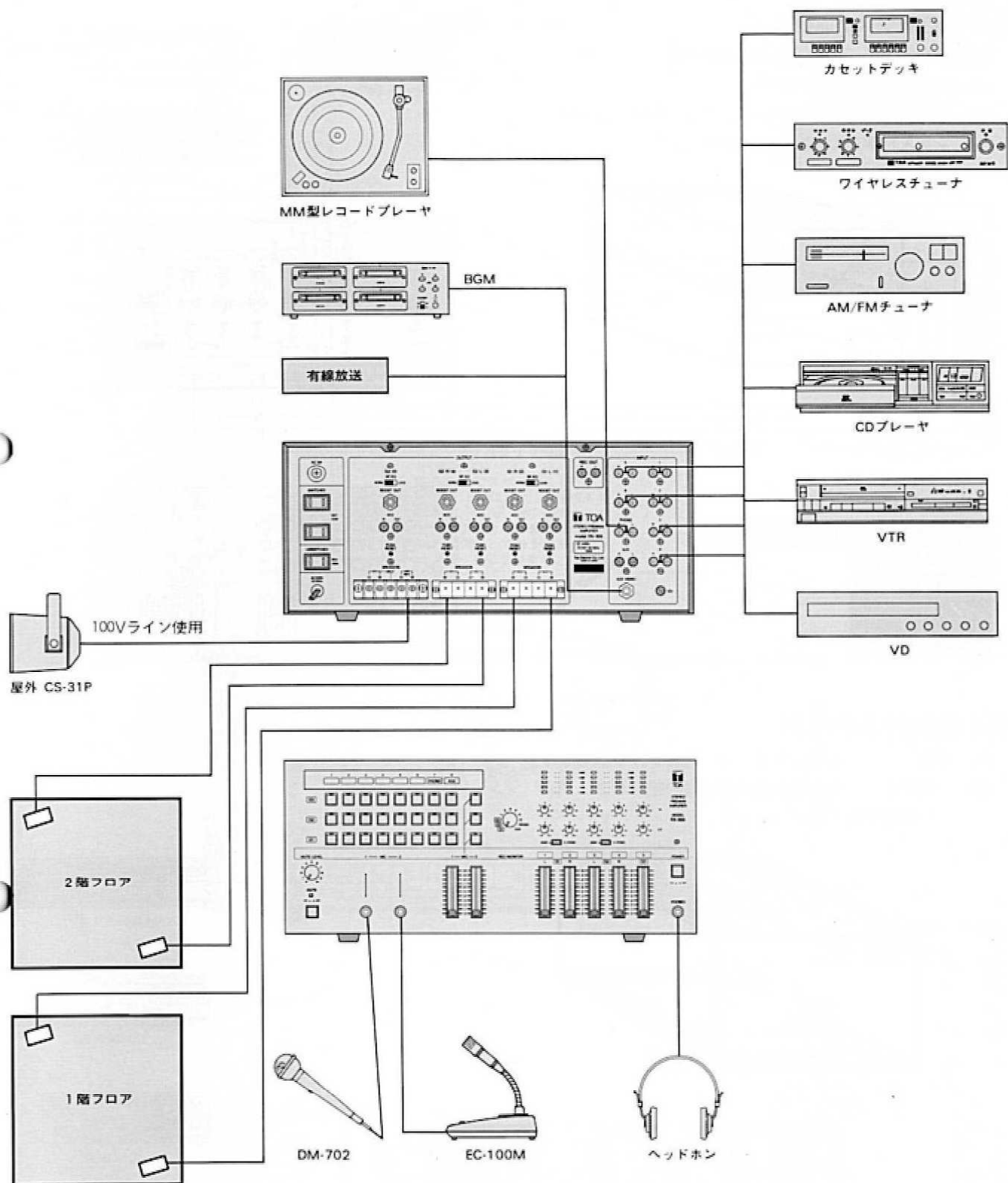


ブーストアウト

内蔵のパワーアンプではパワーが不足する場合に、外部のパワーアンプを接続します。



● 接続例



F-10、F-150、F-300など

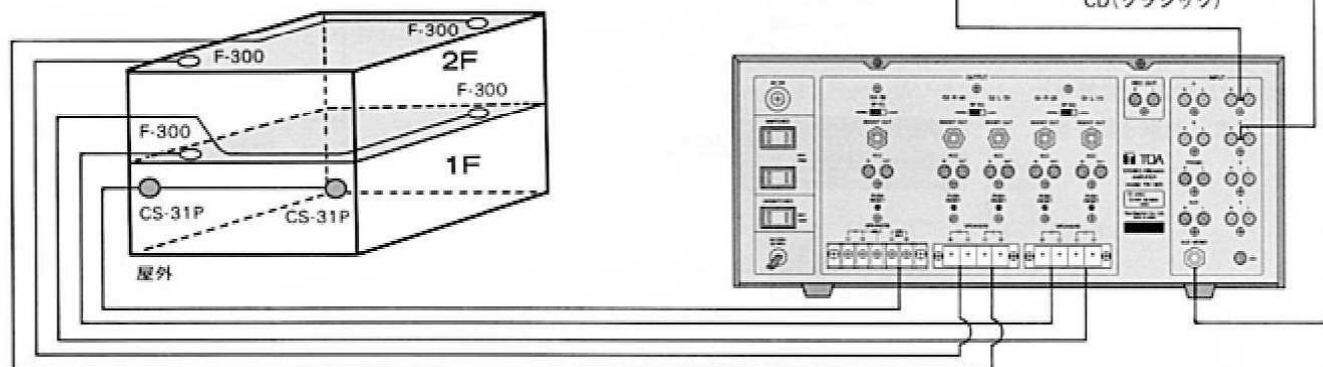
屋外、1階、2階に独立したプログラムソースを放送できます。

●使用例

(イ) BGMシステム(1)

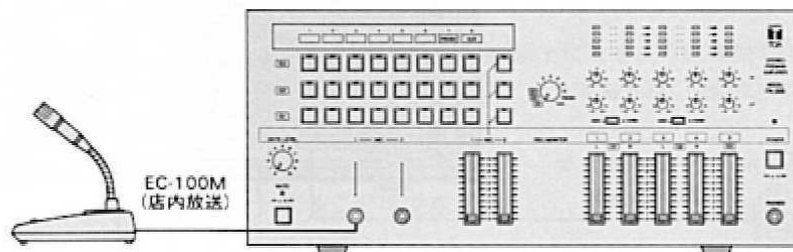
店舗の1F、2F、屋外に別々のプログラムソースをサービスします。

例、1Fはポップス、2Fはクラシック、屋外は商業入りBGM、店内放送は1F、2Fだけ。



入出力の関係

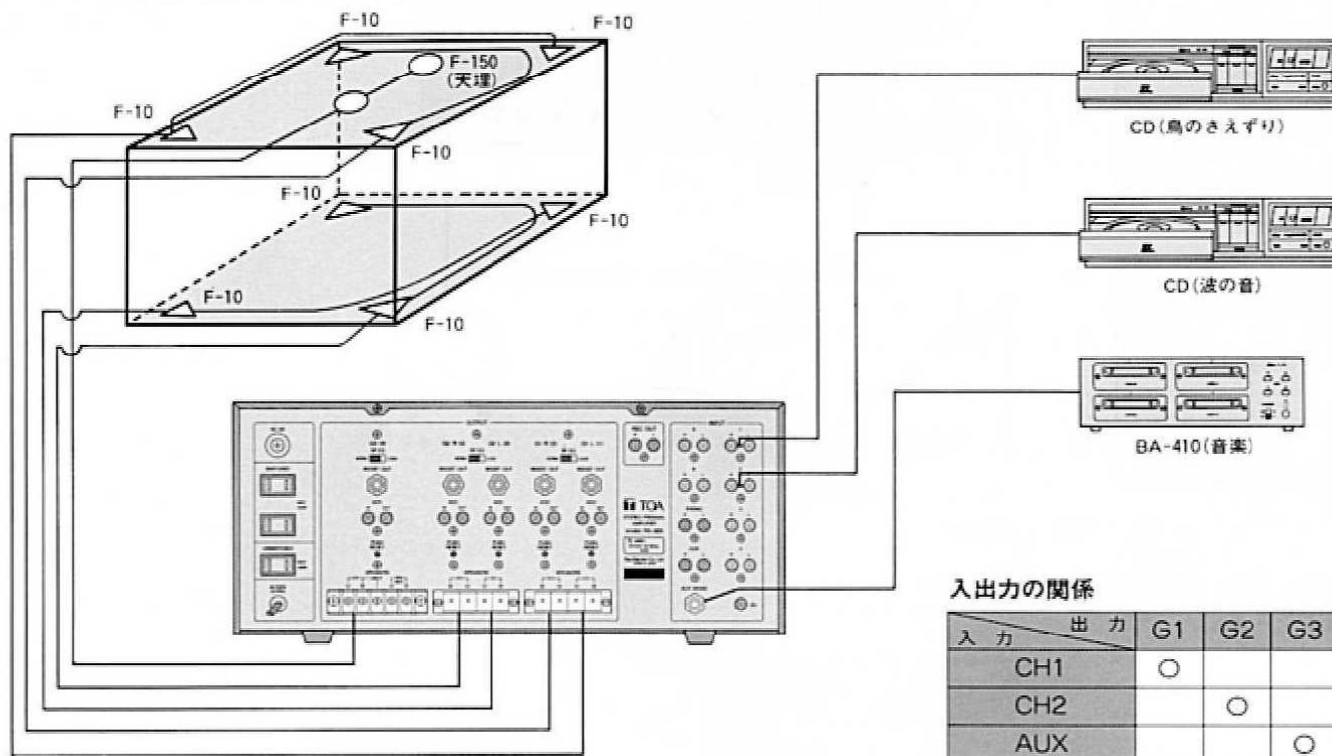
入 力	出 力	G1	G2	G3
CH 1		○		
CH 2			○	
AUX				○
MIC 1		○	○	



(ロ) BGMシステム(2)

同じ空間で、三つのプログラムソースをミックスします。

例、一般音楽ソースと自然音や効果音の組合せで、立体的な音響空間が創り出せます。



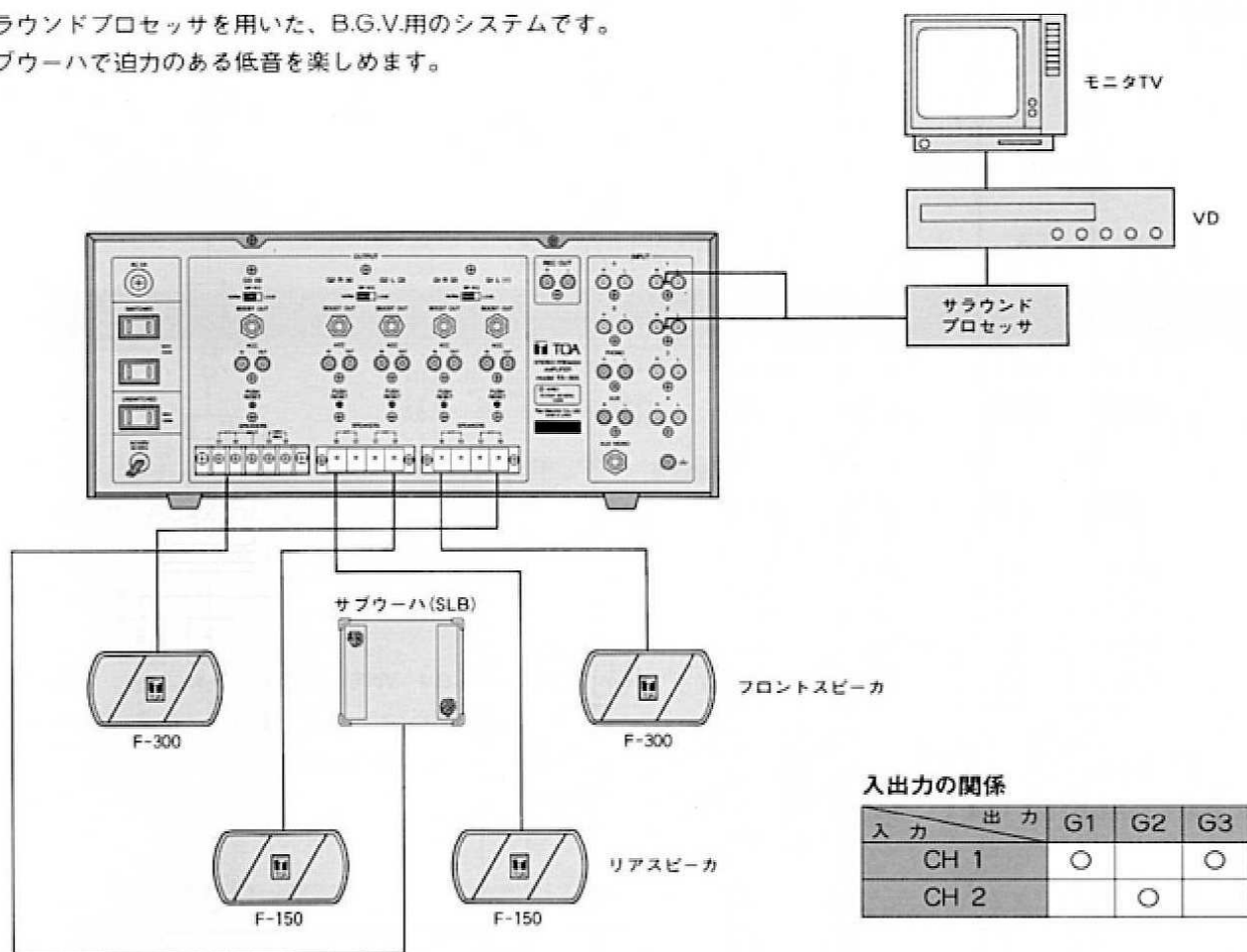
入出力の関係

入 力	出 力	G1	G2	G3
CH1		○		
CH2			○	
AUX				○

● 使用例

(ハ) サラウンドシステム

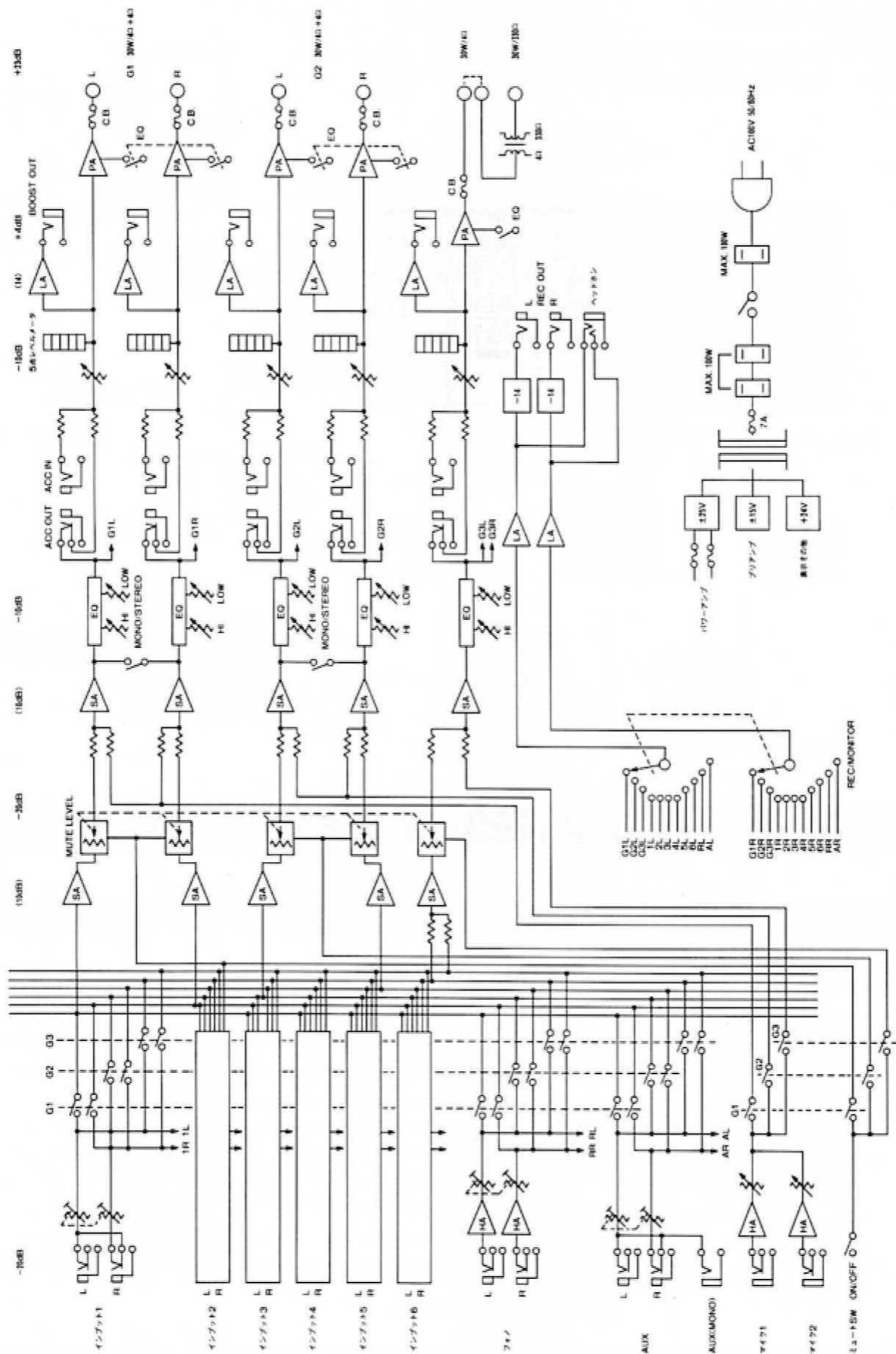
サラウンドプロセッサを用いた、B.G.V.用のシステムです。
サブウーハで迫力のある低音を楽しめます。



● 各入出力端子のレベルとインピーダンス

端 子 名	レベル / インピーダンス	使 用 コ ネ ク タ
INPUT 1 ~ 6		ピンジャック
AUX	-20dB / 10k Ω	AUXにホンジャックバラ 不平衡
PHONO	-50dB / 47k Ω	ピンジャック
MIC 1,2	-60dB / 3.3k Ω	不平衡ホンジャック
ACC IN	-10dB / 10k Ω	ピンジャック
ACC OUT	-10dB / 2.2k Ω	ピンジャック
BOOST OUT	+4 dB / 2.2k Ω	不平衡ホンジャック
REC OUT	-10dB / 2.2k Ω	ピンジャック
PHONES	-20dB / 8 Ω	ステレオホンジャック
スピーカ端子 1	+23dB / 4 Ω + 4 Ω	プッシュターミナル
スピーカ端子 2	+23dB / 4 Ω + 4 Ω	プッシュターミナル
スピーカ端子 3	+23dB / 4 Ω ハイインピーダンスの場合 +40dB / 330 Ω	ネジターミナル ネジターミナル

●ブロックダイアグラム



●仕様

電 源	AC100V 50/60Hz
周 波 数 特 性	20~20kHz +0, -3dB
M I C 周 波 数 特 性	50~10kHz +0, -3dB
歪 率	0.05% at 1kHz
S / N	MIC 50dB以上 他 75dB以上
トーンコントロール	LOW 100Hz ±10dB以上 HIGH 10kHz ±10dB以上
ミューティング量	‘10’ -40dB以上、中央で約-8dB
S P E Q	100Hz 5dB以上
定 格 出 力	30W×5 / 4Ω, 歪率0.1%
消 費 電 力	電気用品取締法による155W(200VA)
寸 法	420(W)×177(H)×260(D)mm 取付金具なし
重 量	13.5kg

※本機の仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

●付属品：ラックマウント金具……2 取扱説明書……1 ヒューズ(7A)……1 入出力シール……1

●アフターサービスについて

●保証書

保証期間はお求めの日から1年間です。

●保証期間中に修理を依頼されるとき、お求めの販売店にご連絡ください。

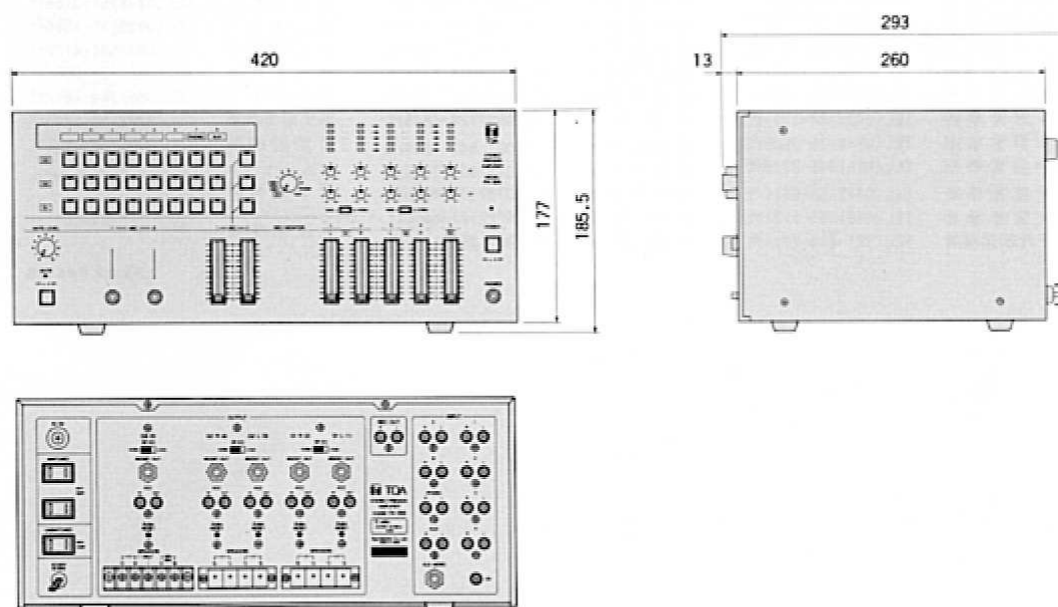
連絡していただきたいこと

住所・氏名・電話番号・品名・品番・購入日・故障内容
や異常の状況。

●保証期間経過後に修理を依頼されるとき、お求めの販売店にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料で修理いたします。

●外観寸法図





TOA 株式会社

TOA・インフォメーション・センター

商品や技術など、各種お問合せにお応えします。
業務時間 9:00~17:00(日曜・祝日除く)

フリーダイヤル(無料電話)

☎0120-108117

〒665 宝塚市高松町2番1号
TEL.0797-72-7567
FAX.0797-72-1090

札幌営業所 TEL(011)231-4641代
青森営業所 TEL(0177)23-3751代
盛岡営業所 TEL(0196)54-5211代
仙台営業所 TEL(022)236-6565代
郡山営業所 TEL(0249)23-7744代
水戸営業所 TEL(0292)31-9811代
宇都宮営業所 TEL(0286)62-1431代
高崎営業所 TEL(0273)26-3955代
多摩営業所 TEL(0425)84-1711代
長野営業所 TEL(0262)26-3628代
新潟営業所 TEL(025)246-2316代
千葉営業所 TEL(0472)55-6111代
大宮営業所 TEL(048)685-5131代
千代田営業所 TEL(03) 814-2711代

横浜営業所 TEL(045)261-2721代
東京電設 TEL(03) 814-6211代
営業開発室 TEL(03) 818-4721代
静岡営業所 TEL(0542)37-8850代
金沢営業所 TEL(0762)33-1951代
岐阜営業所 TEL(0582)76-1401代
名古屋営業所 TEL(052)971-8211代
名古屋電設 TEL(052)962-5721代
津営業所 TEL(0592)24-6645代
日本橋営業所 TEL(06) 643-1090代
京都営業所 TEL(075)801-7328代
神戸営業所 TEL(078)577-4326代
堺営業所 TEL(0722)21-6665代
大阪電設 TEL(06) 358-1141代

大阪特販営業所 TEL(06) 358-1147代
岡山営業所 TEL(0862)41-8029代
広島営業所 TEL(082)291-3988代
高松営業所 TEL(0878)51-3166代
松山営業所 TEL(0899)31-1586代
北九州営業所 TEL(093)581-4722代
福岡営業所 TEL(092)431-0061代
熊本営業所 TEL(096)384-1612代
鹿児島営業所 TEL(0992)56-5245代
那覇営業所 TEL(0988)66-5598代
プロサウンド TEL(03) 815-8731代
東京営業所
プロサウンド TEL(078)303-5631代
大阪営業所

133-02-841-88